

目次

1～2面

尹錫悦弾劾から「社会大改革」へ
日本人民に問われる壊憲・「緊急事態」条項との闘い

土松克典

韓国のクーデターは朝鮮戦争再開の企てだったのか？
議会で追及される尹錫悦の計画、その全貌とは
パク・ジュヒョン（朝鮮共同発展のためのノドゥットウル）

3面

エッセイ
敗戦80年「完全な主権」の下で絶対不戦をうち固めよう
冠木克彦（日本戦没学生記念会〔わだつみ会〕理事長）

アサド政権転覆は帝国主義の反革命策動
本紙編集部・稲垣博

シオニストの侵略に連帯して立ち向かおう
パレスチナ解放人民戦線（PFLP）

4面

シリアの政権崩壊をめぐって一各国共産党の見解
シオニスト集団の残忍な侵略に対しシリア人民と連帯する
アラブ諸国共産党の共同声明

シリアではイスラエルとアメリカ合衆国が聖戦主義者を使って一時的に勝利した
トルコ共産党

ギリシャ共産党はシリアの人民とコミュニストの側に立つ
ギリシャ共産党中央委員会報道局

帝国主義とシオニストの介入を強く非難する
パレスチナ共産党

5面

シリア、アサド政権の崩壊
もっとも重要なのはパレスチナへの影響
ヴィジャイ・プラシャド（トリコンチネンタル社会調査研究所事務局長）

川柳
笑い茸

6～7面

ルポ 11・30国会前アクション
沖縄の闘いに呼応し声を上げよう！
大館まゆみ

「11・30国会前アクション」での発言から
戦争をする態勢が急速につくられている！
伊波洋一（参議院議員・うりずんの会）

急浮上する奄美大島からの辺野古埋め立て土砂調達

沖縄の闘いに連帯し、緊急署名に協力を

毛利孝雄（辺野古土砂搬出反対！首都圏グループ）

前照灯

制度と埃のなかで

8面

映画『ソリヨモヨラ』を観て

神奈川で特別試写会開催

伊藤薫（自治体労働組合勤務）

田中正造カレンダー

4年ぶりに復活！

労働者通信 派遣が恒常化する郵便職場

日々模索が続くコミュニケーション

何の資格はなくても、生きる資格はある

小倉亮太（郵便労働者）

イラスト通信

常駐フリー問題はフリーランスだけの問題なのか？

広浜綾子

9面

住民のいのちと安全・廃線から暮らし（街）を守る連絡会議（準備会）開かれる

12・5連絡会議ルポ

「廃線」は誰のためか

堀川久司（千葉県船橋市在住）

安全性・公共性を打ち捨てる国とJR

住民の生活と〈街〉を破壊する廃線に反対しよう！

二瓶久勝（連絡会議事務局長）

原発事故被災者の声（45）

福島原発事故から間もなく14年

女川原発、島根原発再稼働の無反省・無責任

國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

10～11面

詩

解放者たち

パブロ・ネルーダ

ラテンアメリカの革命詩人ネルーダ

訳者

連載 ディアス＝カネルへのインタビュー②

基本的な役割を果たすのは国営企業

第2部＝キューバ経済について

催物案内

12～13 面

HOWS 講座報告

朝鮮は孤立していない！

わたしのアフリカ・中東訪問報告

李永徳（『朝鮮新報』記者）

『朝鮮新報』の李永徳さんのコラムから
シリア情勢悪化の根源

尹錫悦支持した台湾反共勢力を告発する
台湾民進党のファシスト的な本質

何志明（台湾白色恐怖歴史研究者）

14～15 面

書評特集 この1年、この1冊

星野智幸『ひとでなし』（文藝春秋）

社会のゆがみ照らす架空日記

越川芳明（明治大学名誉教授）

渡辺治『渡辺治著作集 第16巻 運動・社会民主主義・対抗構想』（旬報社）
渡辺政治・憲法学の集大成

清水雅彦（日本体育大学教授）

保坂廣志『首里城と沖縄戦 最後の日本軍地下司令部』（集英社新書）
反基地闘争が民衆の命を守る

近藤和樹（社青同前委員長）

AKALA『ネイティブス-帝国・人種・階級をめぐるイギリス黒人ラッパーの自伝的考察』（感覚社）

魂震わす解放闘争の名盤

林裕哲（朝鮮大学校教員）

岩野卓司・丸川哲史編『野生の教養Ⅱ 一人に一つカオスがある』（法政大学出版局）
教養が開く未知への視座

丸川哲史（明治大学政治経済学部教授）

デヴィッド・ハーヴェイ『反資本主義 新自由主義の危機から〈真の自由〉へ』（作品社）
反乱する知のダイナミズム

庄子正紀（全国一般・全労働者組合）

竹吉優輔『たったひとつの冴えない復讐』（講談社）
気高き創造精神の到達点

山口直孝（二松学舎大学教員）

鈴木宣弘：森永卓郎『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』（講談社+α文庫）

「食」の崩壊と再生の科学

南川潤（大阪在住）

「解放へのオガリ」像
沖縄・読谷村に建立

服部良一（金城実を支える会代表・元衆議院議員）

リーフレット紹介

憲法を変えて「戦争のボタン」を押しますか？

「共同行動のためのかながわアクション」作成

16面

頃 春 2025年1月1日

活動家集団 思想運動

紙つぶて

能登半島地震発生から1年

村上理恵子（東京都在住）

ゴーゴリ作「外套」を読む

牧子嘉丸（HOWS受講生）

明大のパレスチナシンポに参加して

赤嶺隆三（学生）

頂門一針

湯地朝雄による福田和也批判

編集部発